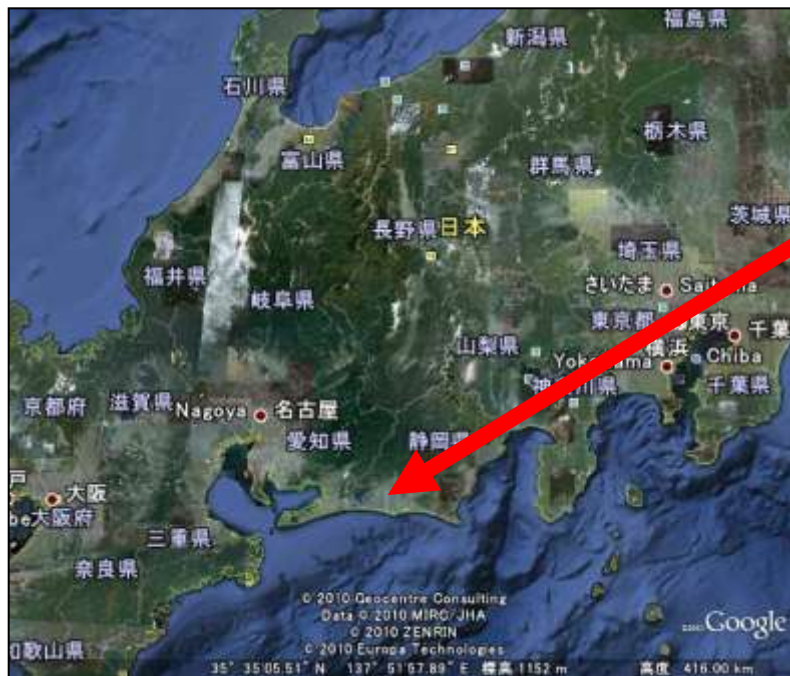




磐田市立総合病院

初期臨床研修プログラム紹介



**磐田市立
総合病院**

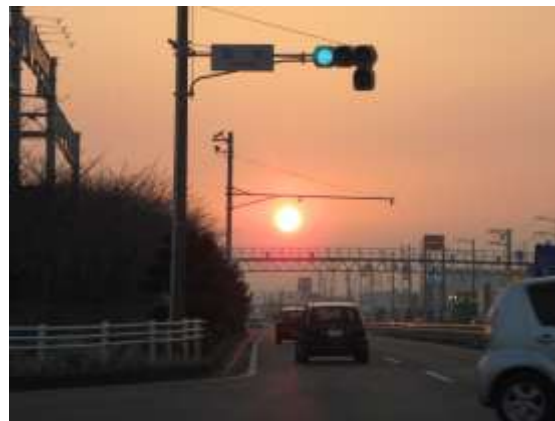
磐田病院周辺の風景



磐田病院周辺の風景



磐田病院周辺の風景





施設の紹介(地域ニーズ、特性)

- 平成10年に新築・移転(32診療科、病床500)
- 診療圏は約17万人で中東遠地区の中核病院
- 平成21年母子周産期センター完成
- 平成21年救急救命センター認可
- 平成22年度から静岡家庭医養成プログラムをスタート
- 平成24年度外来東館(腫瘍センター)完成
- 常勤医師数154名(H27.2現在)
- 病院ランキング静岡県5位(週刊ダイヤモンド誌)



診療科目

- 33科(心臓外科はない)
- 内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、神経内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病・内分泌科、精神科、小児科、整形外科、一般外科、腹部外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、リウマチ科、呼吸器外科、血管外科、形成外科、歯科口腔外科、救急科、緩和ケア科、小児外科、リハビリ科など



診療実績(平成26年度)

■ 1日平均外来患者数	1,172人
■ 平均病床利用率	89.8%
■ 救急患者数	20,002人
■ 救急搬送件数	4,896件
■ 手術件数	4,104件
■ 分娩件数	1,031件
■ 平均在院日数	13.3日



最新の医療機器

- 3.0テスラMRI
- ヘリカルCT(2台)
- インテリジェントCT(256列、心臓CT)
- 前立腺癌の小線源治療器
- 高精度放射線治療統合システム(ノバリス)



研修プログラムのモットー

- 厳しいけれど、楽しく。研修医たちが共に育つことができる研修環境を提供する



研修のゴール

- 「ひとり立ちできる臨床医」になる
 - 初期研修終了後、どこに行っても恥ずかしくない臨床医(グローバルスタンダードを身につけた医師)になる
- “Teaching is Learning”を実践できる医師になる



研修プログラムの特徴

- 豊富な症例数と教え好きな指導医達
- 研修医教育専任の医師がいる
 - 専任指導医が2年間継続的に研修医の成長を見守る
- OJTと座学のバランスがとれた効率的な教育体制
 - 臨床推論に重点をおいた新患カンファレンス（3回/週）



研修プログラムの特徴

- 教育専任医師による臨床必須事項のミニレクチャー(100回以上/年)
- 豊富な学習機会(耳学問)
 - 専門医によるレクチャー(1~2回/月)
 - 身体診察、臨床推論道場の開催(1回/週)
 - ERピットフォールカンファレンス(1回/週)
 - カリスマ放射線読影医による読影カンファレンス(1回/2ヶ月)
 - 検査技師によるハンズオンの少人数制エコー勉強会



研修プログラムの特徴

- 研修医の希望をローテーションに反映した自由度の高い研修スケジュール
 - エコー検査、臨床病理、放射線診断部門、放射線治療部門、検査部門(細菌検査室など)、海外研修(条件による)の選択も可能
 - 静岡家庭医養成プログラムの家庭医療科の選択が可能
 - マイナー科についてはローテーション期間を週単位で選択可能(例:皮膚科2週間+耳鼻科2週間で4週間)

研修医年間ローテーション

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オリエンテーション	血液内科	腎内科	消化器内科	神経内科	循環器内科	呼吸器内科	内科 糖尿病科	外科		麻酔	
総合内科(研修医教育部門)											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小児科		産婦人科	救急	地域	精神科	選択					



研修プログラムの特徴

- ERに救急専門医を配置し、教育の場としての救急外来の充実
- 一般内科ローテーション期間中(1ヵ月)に初診外来を担当
 - 医療面接・臨床推論のトレーニングの場
 - 社会心理学的背景を有する患者への対応



研修プログラムの特徴

- 良好な研修環境
 - 広くて明るい研修医ルームに一人に1つの机と書架
 - コメディカルが研修医教育に協力的
 - 採血、点滴(看護師)
 - グラム染色(検査技師)
 - 超音波検査(生理検査技師)
 - 文献検索環境と二次資料の充実



研修プログラムの特徴

- 地域の公立病院と協力して地域医療・精神科研修を充実
 - 菊川病院で精神科の研修を行う
 - 地域医療研修は静岡家庭医療プログラムの森町または菊川家庭医療センターで家庭医療の研修を受ける
- 家庭医療重点コースあり
 - 森、菊川どちらかのサイトで週1回外来診療を継続的に行う



研修プログラムの特徴

- ミシガン大学家庭医療学科から外国人医師の招聘を行っている

外国人医師による講義



研修医週間スケジュール

	月	火	水	木	金
採血当番(4月のみ) AM7:00~	○		○		○
身体診察・臨床集論道場 AM7:30~8:00		○			
ERピットフォールカンファレンス AM7:30~8:00					○
新患カンファレンス・ミニレクチャー AM9:30~11:00	○		○		○
一般内科病棟回診 PM11:00~11:30	○		○		○
外来指導(内科ローテーション期間) AM8:30~12:00		○			
ER担当(輪番) AMまたはPM	○	○	○	○	○
エコー勉強会 PM6:00~			○		
プライマリケアレクチャー PM5:30~6:30	○				



副直・ER担当

- 副直は原則月4回(平・休日の宿直3回、休日の日直1回)
- 体制
 - 内科系当直医 1名
 - 外科系当直医 1名
 - 研修医副直 2名
- 業務: 2年目研修医、指導医とともに内科系(小児科を含む)または外科系の救急車・walk-in来院患者の診療にあたる

- 勤務時間内のER担当
- 半日を1単位とし、1単位/週の担当
- 体制
 - ER専任医師 2名
 - 研修医 2名
- 業務: ER専任医師とともに内科、外科を問わずすべての救急車来院患者の診療にあたる



給料・宿舎・休暇

■ 給料

- 1年目基本給: 337,000円
- 2年目基本給: 346,600円
- ボーナス、時間外手当てあり

■ 宿舎

- 敷地内に研修医アパート(2K)8部屋
- 病院が市内に研修医アパート(2K)を借り入れ
- 自己負担は一律月額18,000円

■ 休暇

- 夏季休暇連続9日間取得可能



初期研修医受け入れ実績

- H16～27年の期間に、125名の初期研修医を受け入れた
- ドロップアウトはなし
- 出身大学(28大学)
 - 浜松医科大学、名古屋大学、金沢大学、昭和大学、金沢医科大学、福井大学、大分大学、島根大学、岩手医科大学、慶応大学、滋賀医科大学、信州大学、藤田保健衛生大学、山梨大学、三重大学、東京大学、北里大学、岐阜大学、群馬大学、山形大学、愛媛大学、名古屋市大学、富山大学、秋田大学、中国医科大学、愛知医科大学、杏林大学、琉球大学



後期研修プログラム

- 内科 循環器内科 3名
- 呼吸器内科 4名
- 消化器内科 2名
- 腎臓内科 5名
- 神経内科 2名
- 血液内科 2名
- 糖尿病内科 2名

- 消化器・一般外科 2名
- 小児科 5名
- 産婦人科 1名
- 整形外科 4名
- 放射線診断科 1名

*** : 人数は現在までに当院の初期研修医から後期研修プログラムに進んだ研修医数**



先輩研修医の感想

- 素晴らしい仲間、頼もしい先輩医師がいる
- 研修医同士が知識・経験をシェアし合おうという雰囲気がある
- **Common disease**、基本手技、救急症例を数多く経験できる
- 教育専任医師に気軽に相談ができる
- カンファランス、レクチャーが充実している
- 病院全職員が研修医教育に協力的である
- 宿舎、研修医室が快適

研修医の毎日: BBQパーティー



修了証書授与式



我々はチーム！！





最後に

- 私たちが責任を持って、あなたを「ひとり立ちできる臨床医」に育てます
- 個々の研修医のニーズに沿った、柔軟性に富んだ研修プログラムを提供します
- 厳しくかつ多忙ですが、自らが成長を実感できる楽しく・達成感のある研修プログラムをめざします
- 私たちは研修医教育を臨床の片手間の仕事とは思っていません



是非病院見学に来てください。
お問い合わせは下記まで

TEL:0538-38-5000

担当:医療支援課 西藤

E-mail: byoin-kanri@city.iwata.lg.jp